

訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 株式会社イメージ・ラボ

訓練実施施設名: イメージ・ラボ梅田F教室

問合せ先住所: 〒 5 3 0 - 0 0 2 7
大阪府大阪市北区堂山町1番5号 三共梅田ビル5階 事務局

問合せ電話番号: 06-6311-3681

■土日祝日訓練の有無:

☐ 全日あり / ☐ 一部あり / ☐ なし

■法定講習に係る補講:

☐ あり ☐ なし / ☐ 有料 ☐ 無料

■相モデルによる訓練:

☐ あり ☐ なし

■合同開催による訓練:

☐ あり ☐ なし

訓練の種別	☒	実践コース (05 介護・医療・福祉分野)			就職を想定する職業・職種
		職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	託児サービスコース	短時間訓練コース (月80時間以上100時間未満)	
		「企業実習促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	「職場見学等促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入		
訓練科名	☆初任者研修・同行援護・ガイドヘルパー科				訪問介護員、施設介護員
募集期間(予定)	令和7年5月1日 ~ 令和7年5月22日				
選考日(予定)	令和7年5月30日				
選考方法	☒ 面接	☐ 筆記試験	☐ その他 ()		
選考結果通知日	令和7年6月6日				
訓練期間	令和7年6月25日 ~ 令和7年9月24日 (3 か月) (訓練日数 46 日)				
訓練時間	9 時 10 分 ~ 16 時 50 分				訓練定員 15 名
訓練対象者の条件	特になし				
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	☐ 新規学校卒業生	☐ 被災者	☐ ニート等の若者	☐ 障害者	☐ 母子家庭の母等
訓練目標 (仕上がり像)	介護従事者としての職業倫理と幅広い知識・技能を習得する為に、専門の講師からの確かな指導を受けることで、基本から応用までのスキルを身に付け、介護業界で活躍できる人材を育成する。				
訓練修了後に取得できる資格	名称 (介護職員初任者研修) 認定機関 (株式会社イメージ・ラボ) 任意受験 名称 (同行援護従業者養成研修一般課程) 認定機関 (株式会社イメージ・ラボ) 任意受験 名称 (同行援護従業者養成研修応用課程) 認定機関 (株式会社イメージ・ラボ) 任意受験 名称 (全身性障がい者移動支援従業者養成研修課程) 認定機関 (株式会社イメージ・ラボ) 任意受験				
① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)					
② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)					
③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)					
訓練内容	訓練概要	介護従事者に必要な制度、倫理観と認知症ケアや障がい者に関する知識を学科で理解・吸収していただきます。そして、所内の実技演習で介護技術を習得し、実際に企業実習で経験を深めます。(日によって訓練時間が異なる場合があるため、詳細については、訓練校にお問い合わせ下さい。)			
	科目	科目の内容			訓練時間
	開講式・オリエンテーション・修了式	開講式・オリエンテーション(3H) 修了式(3H)			
	安全衛生	心身の健康管理、整理整頓の原則			1時間
	職務の理解	多様なサービスと理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解			6時間
	介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護、人権啓発に係る基礎知識			9時間
	介護の基本	介護職の役割・専門性と多職種との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全			6時間
	介護・福祉サービスの理解と医療の連携	介護保険制度、医療との連携とリハビリテーション、障がい者総合支援制度およびその制度			9時間
	介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション			6時間
	老化の理解	老化に伴うところとからだの変化と日常、高齢者と健康			6時間
	認知症の理解	認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症に伴うところとからだの変化と日常生活、家族への支援			6時間
	障がいの理解	障がいの基礎的理解、障がいの医学的側面・生活障がい・心理・行動の特徴・かわり支援の基礎的理解、家族の心理、かわり支援の理解			3時間
	ところとからだのしくみと生活支援	介護の基本的な考え方、介護に関するところのしくみの基礎的理解、介護に関するからだのしくみの基礎的理解			23時間
	振り返り	振り返り、就業への備えと研修終了後における事例			4時間
	修了評価	筆記試験(介護職員初任者研修事業実施要綱に基づく全科目の筆記試験)			1時間
	同行援護の知識	障がい者(児)福祉制度と同行援護事業、同行援護従業者の業務、同行援護従業者の職務倫理、障がい者の人権、障がい者の理解、障がい者(児)の心理、介助の基礎知識			20時間
	全身性障がい者移動支援の知識	障がい者(児)福祉制度と移動支援事業、移動支援従業者の業務、移動支援従業者の職務倫理、障がい者の人権、障がい者の理解、障がい者(児)の心理、移動介助の基礎知識			13時間
	レクリエーションの知識	レクリエーションの意義、レクリエーションの基本と応用の知識、介護予防につながるレクリエーションとレクリエーションの企画・実践の知識			10時間
	就職支援	面接指導、履歴書作成指導、ジョブ・カード作成支援			3時間
	ところとからだのしくみと生活支援技術	生活と家事、快適な居住環境整備と介護、ところとからだのしくみと自立に向けた介護(整容・移乗・食事・入浴、清潔保持、排泄、睡眠)、終末期介護、利用者の心身に合わせた介護、福祉用具の活用、介護過程の基礎的理解、総合生活支援技術演習			53時間
	同行援護の演習	同行援護における基本介助技術			16時間
	全身性障がい者移動支援演習	移動介助の基本技術、交通機関利用の介助演習			11時間
	介護技術実践演習	利用者の心身に合わせた介護、福祉用具の活用、環境整備(移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護)			11時間
	企業実習	☐ 実施しない	☒ 実施する		
職場見学、職場体験、職業人講話	【職業人講話】「介護員としての心構え」(介護業界のデジタル技術活用事例の紹介を含む)1時間×2回				
	【職業人講話】「介護員に求められる人物とは」1時間				
訓練時間総合計	262時間	学科 126時間	実技 91時間	企業実習 42時間	職場見学等 3時間
受講者の負担する費用	教科書代		0円		合計 660円
	その他 (全身性障がい者移動支援従業者及び同行援護の演習に係る交通費)		660円		
	備考 (企業実習に係る交通費実費、健康診断料800円(税込)、法定講習欠席に係る補講費1回:3,000円(税込)は別途発生)				
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	☒ 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する			
		☐ オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混在型)	☐ オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型)	オンライン計	時間
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	座学に加え、ロールプレイングやグループワーク等の体験学習を積極的に取り入れ、学習効果を高める。介護ベッド等、介護現場で使用されている介護器材を使用し、様々な介護場面における介護技術を習得する。			
	受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	講義及び実技・演習を通じて、受講生が介護に対する取り組み方や考え方が理解できているか、習得度を講師が常に把握し、理解が深まっていない受講生に対しては、訓練終了後に個別に対応を行う。			

訓練実施施設所在地地図

訓練実施施設住所: 〒 530-0027 大阪府大阪市北区堂山町1番5号 三共梅田ビル5階 F教室



【最寄駅】地下鉄谷町線「東梅田駅」より徒歩約5分
地下鉄御堂筋線「梅田駅」より徒歩約8分
JR大阪駅より徒歩約10分

訓練カリキュラム(企業実習用)

訓練カリキュラム(企業実習用)			
	科目	科目の内容	訓練時間
訓練 実 技 内 容	こころとからだのしくみと生活支援技術	生活サイクルの確認、利用者の確認、利用者の生活支援	41時間
	安全衛生	衛生管理項目の確認、救命装置の設置場所確認、うがい・手洗いの徹底、衛生用具の使用、安全姿勢	1時間